

仕様書

1. 総則

佐賀県東松浦郡玄海町値賀崎周辺において実施する、玄海原子力発電所 1～4 号機の温排水影響調査のうち、付着生物調査、底生生物同定、底質 COD 分析を委託する。

2. 委託調査内容

(1) 現地調査（佐賀県東松浦郡玄海町値賀崎周辺）

1) 付着生物調査

調査時期は、令和 7 年夏季（7～9 月）と、令和 7 年冬季（1～3 月）の年 2 回とする。

調査は、別図に示した 10 地点において、大潮の干潮時に実施することとし、各地点とも帯状トランセクト法により潮上帯から潮下帯までメジャーを伸ばし、1.5m 毎に 50 cm 枠の中の岩等に付着している動植物の種類、数量（被度）を目視により観察する（分類のレベルは別表 1-1, 2 参照）。また、各地点の枠ごとに写真撮影を行う。

(2) 分析

1) 底生生物同定

県が令和 7 年夏季に採取した 10 地点のマクロベントスについて、種の同定、個体数・重量測定を行う（分類のレベルは別表 2 参照）。

2) 底質 COD 分析

県が令和 7 年夏季に採取した 10 地点の底質サンプルについて、アルカリ性法により COD 分析を行う。

3. 報告書

県が指示する様式によりとりまとめ、夏季の現地調査、分析終了後 30 日以内に中間報告書、令和 8 年 3 月 31 日までに最終報告書を提出すること。

なお、報告書は A4 サイズで中間報告書 1 部、最終報告書 2 部とし、あわせて最終報告書提出時に電子媒体により、Word あるいは Excel 形式で提出すること。また、付着生物調査の調査点でデジタルカメラにより撮影したデータは電子媒体で提出すること。